

3月 定例会

regular meeting

平成19年3月定例会が、3月8日から22日までの15日間の会期で開催されました。

平成19年度の予算をはじめ、条例改正や副町長の選任などが提案され、いずれも可決、承認しました

平成19年度
一般会計



前年対

42億4800

平成19年度一般会計予算を3つしました。慎重に審議した結果、

歳入

科目	予算額	前年対比
町税	13億2307万5千円	11.6%
地方交付税	11億800万円	0%
借入金	4億1760万円	△3.5%
国庫支出金	2億8060万7千円	21.7%
県支出金	2億7384万5千円	△36.3%
その他	8億4487万3千円	△16.6%
合計	42億4800万円	△3.5%

(注) △はマイナス

ポイント

- ①町税は定率減税廃止などで増
前年対比1億3711万6千円、11.6%の増を見込む。
- ②地方交付税は前年と同額
交付税額は11億800万円。財源の26%を占める。
- ③基金を2億3000万円取り崩す
財源不足を補うため、財政調整基金から1億円、減債基金から1億3000万円を取り崩す。

第3予算審査特別委員会 (建設経済常任委員会)

かと指摘したが、事業を活性化し、不足分を補う努力を各団体をお願いするとの回答であった。

■学童農園設置事業費は、前年比15万円の減額であるが、食育の重要性が叫ばれているのに問題ではないかと指摘したが、保護者や地域の方々の協力を得て、教育課程のなかに位置づけた事業を実施するとの回答であった。

■給食センターのボイラーが故障し、給食が1日中止になった。設備は建設時のもので老朽化しつつある。緊急を要する機器から早めに交換すること。

■国営筑後川土地改良事業で造成された施設の管理体制を整備するため207万4千円を計上しているが、平成20年度からの実施に向けて、国、県、関係市町で十分協議されたい。

■中学校周辺の自歩道整備工事として2260万円、また用地購入も予定している。学校周辺であることから、早期に整備をお願いする。

■農業や商工業の活性化は財政基盤の強化につながり、クリーク環境や道路網の整備は本町の発展につながる。最小限の支出で最大の効果をあげるよう強く要望する。